

今後の進め方、テーマについて

1. 協議会（全体会議）

- ・ 構成員の皆様からのご意見をお聞きしながらテーマを決定する。
- ・ 挙げられたテーマをもとに、最新情報を有する者や先進的な取組みを実践する者から情報等を得ながら、意見交換を行う。
- ・ 当面は、重要な課題となっている電力需給に関することを中心に進めていく。

（1）第2回

- 日 時：9月9日（月）13：30～15：30
- 場 所：未定
- テーマ案：① 需要側の取組みを促す手法
 - ・ BEMS アグリゲータによるピーク抑制
 - ・ スマートメーター大規模導入効果実証実験事業
- ② 各団体の節電取組紹介、意見交換 ほか

（2）第3回

- 時 期：10～11月頃
- 場 所：未定
- テーマ案：今夏の電力需給の検証ほか

2. 部門別会議

- ・ 協議会（全体会議）で、構成員の一部の者しか関係のないテーマについて、全ての構成員が参加して深い議論を行うことは効率的ではない。
- ・ このため、事業者、家庭、市町村の3つの区分において、それぞれ取組を推進すべきテーマについて、関係する構成員が構成員以外の者の参加も得ながら議論を進める。
- ・ 部門別会議の開催結果は、協議会（全体会議）で報告する。

○平成25年度のテーマ 「見える化」

- ・ 家庭部門やオフィスビル等を中心とする業務部門では、世帯数や床面積の増加と様々な家電製品やOA機器等の普及が相まって、エネルギー消費量が増加している。
- ・ エネルギー消費が少なく、上手な生活ができる省エネ型ライフスタイルへの転換に向けて、単なる普及啓発にとどまることなく、エネルギー使用状況等の現状を気づいてもらい、個々の状況に応じた情報提供をできるかということが重要となる。
- ・ エネルギー使用量の「見える化」を進め、日々省エネを意識してもらえるシステムづくりを進めていくため、ビルエネルギー管理システム（BEMS）やホームエネルギー管理システム（HEMS）等に関する理解を深め、導入促進策を協議する。

(1) 事業者部門

(テーマ)

- ・ BEMS の活用促進

(内容)

- ・ ビル等の建物におけるエネルギー管理システムである BEMS については、省エネに加え、東日本大震災以降求められている節電、電力ピークカットの対策として、導入促進が期待されている。
- ・ BEMS に関する先進的な取組を実施している事業者等から事例紹介をいただきながら、BEMS の導入促進及び BEMS を活用したエネルギー管理サービスの活用促進に向けた方策を協議する。

(メンバー)

- ・ 構成員の中で希望する団体、業務系を中心とする業界団体、BEMS 関係事業者

(2) 家庭部門

(テーマ)

- ・ 「見える化」の取組促進

(内容)

- ・ 家庭における省エネを促進するためには、府民一人一人が自らのエネルギー使用状況を正しく知った上で、省エネに取り組んでいただく必要がある。
- ・ 見える化に関する事例を関西電力やHEMSメーカー等に紹介いただきながら、「見える化」に関する取組促進の方策を協議する。

(メンバー)

- ・ 構成員の中で希望する団体、消費者関連団体、環境NPO、HEMSメーカー、ハウスメーカー

(3) 市町村部門

(テーマ)

- ・ おおさかスマートエネルギーセンターとの連携、ごみ発電施設の売電の入札化等

(内容)

- ・ 市町村と連携してエネルギー施策を推進するため、エネルギー政策に関する情報共有や意見交換を行う。

(メンバー)

- ・ 大阪府、府内市町村（数ブロックに分けて開催）